

## 安全データシート (SDS)

### 1. 化学品及び会社情報

製 品 名 : レノグリーン

会 社 名 : 株式会社アビオス

住 所 : 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津 1 丁目 2 番 1 号

電 話 番 号 : 092-622-3011 FAX 番号 : 092-622-3016

製 品 コード : 03JM-A01-MS18

緊 急 連 絡 先 : 092-622-3011

推 奨 用 途 及 び : 食品工業用粉末アルカリ性洗剤

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

|          |                    |          |
|----------|--------------------|----------|
| 物理化学的危険性 | 爆発物                | : 分類できない |
|          | 可燃性/引火性ガス          | : 分類対象外  |
|          | エアゾール              | : 分類対象外  |
|          | 支燃性/酸化性ガス          | : 分類対象外  |
|          | 高压ガス               | : 分類対象外  |
|          | 引火性液体              | : 分類対象外  |
|          | 可燃性固体              | : 分類できない |
|          | 自己反応性化学品           | : 分類できない |
|          | 自然発火性液体            | : 分類対象外  |
|          | 自然発火性固体            | : 分類できない |
|          | 自己発熱性化学品           | : 分類できない |
|          | 水反応可燃性化学品          | : 分類できない |
|          | 酸化性液体              | : 分類対象外  |
|          | 酸化性固体              | : 分類できない |
|          | 有機過酸化物             | : 分類できない |
|          | 金属腐食性物質            | : 分類できない |
| 健康有害性    | 急性毒性 (経口)          | : 区分 4   |
|          | 急性毒性 (経皮)          | : 分類できない |
|          | 急性毒性 (吸入: ガス)      | : 分類対象外  |
|          | 急性毒性 (吸入: 蒸気)      | : 分類できない |
|          | 急性毒性 (吸入: 粉じん・ミスト) | : 分類できない |
|          | 皮膚腐食性・刺激性          | : 分類できない |
|          | 眼に対する重篤な損傷・目刺激性    | : 区分 1   |
|          | 呼吸器感作性             | : 分類できない |
|          | 皮膚感作性              | : 分類できない |
|          | 生殖細胞変異原性           | : 分類できない |

|       |                  |                   |
|-------|------------------|-------------------|
|       | 発がん性             | : 分類できない          |
|       | 生殖毒性             | : 分類できない          |
|       | 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | : 区分 3 気道刺激性 麻酔作用 |
|       | 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | : 分類できない          |
|       | 吸引性呼吸器有害性        | : 分類できない          |
| 環境有害性 | 水生環境有害性 (急性)     | : 区分 3            |
|       | 水生環境有害性 (長期間)    | : 分類できない          |
|       | オゾン層への有害性        | : 分類できない          |

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



|         |  |
|---------|--|
| 注意喚起語   | : 危険   |
| 危険有害性情報 | : 飲み込むと有害<br>重篤な眼損傷<br>呼吸器への刺激のおそれ<br>眠気又はめまいのおそれ<br>水生生物に有害 |

注意書き

安全対策

粉じん／ミストの吸入を避けること。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみすること。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ただちに医師に連絡すること。  
気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
口をすすぐこと。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

## 廃棄

内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 重要な特候及び想定される非常事態の概要

### 人の健康に対する有害な影響

- ・粉塵やミストを吸入した場合、鼻・喉・気管支・肺を刺激し、処置が遅れるとしわがれ声  
咽喉部の灼熱感、激しい咳、肺浮腫を生ずる。
- ・皮膚に触れた場合、強い刺激作用があり処置が遅れると皮膚が侵され熱傷にいたる。  
低濃度溶液でも水分の蒸発により同様な症状を起こす。
- ・目に入った場合、激しい痛みを感じ、処置が遅れるとその程度によって結膜や角膜が侵され  
視力低下あるいは失明にいたる。
- ・飲み込んだ場合、口腔・食道・胃部の灼熱感がある。濃い液を大量に飲み込んだ場合、処置  
が遅れると生命にかかわる。

### 環境への影響

- ・大量に流出した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

### 物理的及び科学的危険性

- ・酸性物質と反応し中和熱を発生する。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

| 成分                                  | CAS 番号 | 官報公示整理番号<br>化審法番号 | 濃度又は濃度範囲<br>(%) |
|-------------------------------------|--------|-------------------|-----------------|
| 炭酸塩                                 | 非公開    | 非公開               | 非公開             |
| 酸素系漂白剤                              | 非公開    | 非公開               | 非公開             |
| 界面活性剤<br>ポリオキシエチレンアルキルエーテル (C12-15) | 非公開    | 非公開               | 12              |
| エチレンジアミン四酢酸塩                        | 非公開    | 非公開               | 非公開             |
| 植物抽出エキス                             | 非公開    | 非公開               | 非公開             |

- ・内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質：環境省「環境ホルモン戦略計画 SPEED`98」（2000 年 11 月版）で示された物質（65 種類）を使用しない。

## 4. 応急措置

吸入した場合：粉塵やミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに大量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を大量の水でぬめり感がなくなるまで十分に

洗い流す。何らかの異常を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処理を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

その他 : 使用中、目に異常を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用をやめてその場から離れ、洗顔、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師の受診時には製品または安全データシートを持参する。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。

使ってはならない消火剤 : 情報なし

特有の危険有害性 : 情報なし

特有の消化方法 : 周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。

移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

消化を行う者の保護 : 消火作業では保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 保護具（保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。

漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに多量に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: ほうきなどを用いてできる限り空容器などに回収する。

回収した跡、または回収できないものは、多量の水で十分に洗い流す。

洗浄水は、酸（希硫酸など）で中和してから排出する

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- ・作業時は必ず保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、ゴム長靴を着用する。
  - ・使用時は洗浄剤が飛散しないように丁寧に取り扱う。
  - ・飛散した粉塵やミストを吸い込んだり、目に入らないように注意する
  - ・使用後は必ず水道水で十分に水洗いする。
  - ・用途以外には絶対に使用しない。
  - ・他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない

- ・誤食等事故の恐れがあるので、食品用の容器を含むほかの容器に移し替えたり小分けしない。
- ・移動・保管時は容器の口をしっかりと閉める
- ・倒したり、こぼしたりしないように注意する。
- ・使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。
- ・排水は中和処理する。

保管 ・直射日光、40℃以上、多湿および凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。  
・子供の手の届かないところに保管する。

## 8.ばく露防止及び保護措置

|            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 管理濃度       | : 設定されていない。                   |
| 許容濃度       | : 設定されていない。                   |
| 設備対策       | : 取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。 |
| 保護具        |                               |
| 呼吸器用の保護具   | : 保護マスク                       |
| 手の保護       | : ゴム手袋                        |
| 目の保護       | : 保護メガネ                       |
| 皮膚及び身体の保護具 | : ゴム長靴、保護衣                    |

## 9.物理的及び化学的性質

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 外観（形状、色） | : 白色～淡黄色粉末         |
| 臭い       | : 特異臭              |
| pH       | : 10.3±0.5（1%、25℃） |
| 比重       | : データなし            |
| 粘度       | : データなし            |
| 溶解度      | : 水溶性              |
| 融点・凝固点   | : データなし            |
| 沸点       | : データなし            |
| 引火点      | : なし（不燃性）          |
| 燃焼又は爆発範囲 | : データなし            |
| 蒸気圧      | : データなし            |
| 蒸気密度     | : データなし            |
| 水分分配係数   | : データなし            |
| 自然発火温度   | : データなし            |
| 分解温度     | : データなし            |
| 蒸発温度     | : データなし            |

|              |   |
|--------------|---|
| ヒ素 [As]      | : 0.05mg/L 以下（厚生労働省告示第 370 号食品、添加物等の規格基準） |
| 重金属 [Pb として] | : 1.0mg/L 以下（厚生労働省告示第 370 号食品、添加物等の規格基準）  |

(注) 数値はいずれも代表値で表示

## 10.安全性及び反応性

|            |   |
|------------|---|
| 反応性        | : 酸性物質と反応し中和熱を発生する。   |
| 化学的安定性     | : 通常の取り扱い条件（屋内、常温）においては安定である。<br>吸湿性があり水分や二酸化炭素などのガスを吸収しやすい。<br>水分を吸収すると固まる |
| 危険有害反応可能性  | : データなし   |
| 避けるべき条件    | : 酸性物質との接触、直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態   |
| 混触危険物質     | : アルミニウム・すず・亜鉛、銅、銅合金などの金属、漆器  |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし   |

## 11.有害性情報

|                  |  |
|------------------|--|
| 急性毒性（経口）         | : 使用原料の加算式判定の結果により、区分4とした。<br>LD50 ; 300~2000mg/kg |
| 急性毒性（経皮）         | : データ不足のため分類できない。                                  |
| 急性毒性（吸入：ガス）      | : 分類対象外  |
| 急性毒性（吸入：蒸気）      | : データ不足のため分類できない                                   |
| 急性毒性（吸入：粉じん・ミスト） | : データ不足のため分類できない                                   |
| 皮膚腐食性・刺激性        | : データ不足のため分類できない                                   |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性  | : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、<br>区分1とした。          |
| 呼吸器感作性           | : データ不足のため分類できない                                   |
| 皮膚感作性            | : データ不足のため分類できない                                   |
| 生殖細胞変異原性         | : データ不足のため分類できない                                   |
| 発がん性             | : データ不足のため分類できない                                   |
| 生殖毒性             | : データ不足のため分類できない                                   |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露）  | : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上腐食性含有するため、<br>区分3とした。       |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露）  | : データ不足のため分類できない                                   |
| 吸引性呼吸器有害性        | : データ不足のため分類できない                                   |
| その他の情報           | : データなし  |

## 12.環境影響情報

|             |  |
|-------------|--|
| 生態毒性        | : アルカリ性であるため、大量に流出した場合は水生生物に対して<br>影響を及ぼす。 |
| 水生環境有害性（急性） | : 使用原料の加算式判定より、区分3とした。                     |

|              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| 水生環境有害性（長期間） | : データ不足のため分類できない                  |
| 残留性・分解性      | : 生分解性 7日後 40%、28日後 93.6% OECD 基準 |
| 生体蓄積性        | : データなし                           |
| 土壌中の移動性      | : データなし                           |
| オゾン層への有害性    | : データなし                           |
| その他情報        | : データなし                           |

### 13. 廃棄上の注意

|         |  |
|---------|--|
| 残余廃棄物   | : 下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。<br>少量の場合は、水で希釈してから酸（希硫酸など）で中和してから排出する。<br>廃棄処理するときは保護具を着用する。<br>多量の場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理をする。 |
| 汚染容器、包装 | : 使い終わった容器は、水で十分に洗ってから処理する。  |

内容物／容器の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

### 14. 輸送上の注意

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 国際規制                      |   |
| 国連番号                      | : 該当しない                                       |
| 品名（国連輸送名）                 | : 該当しない                                       |
| 国連分類                      | : 該当しない                                       |
| 容器等級                      | : 該当しない                                       |
| 海洋汚染物質                    | : 該当しない                                       |
| MARPOL73/78<br>及び IBC コード | : ばら積み輸送されない製品のため対象外。                         |
| HS コード                    | : 3402.20                                     |
| 国内法規制                     | : 次の輸送に関する国内法規に該当するので、定められている輸送方法に従う。<br>特になし |

輸送の特定の安全対策及び条件：

- ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
- ・ 荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
- ・ 積載にあたっては酸性物質との接触を避ける。
- ・ 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・ 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
- ・ 水濡れを避ける

## 15.適用法令

|                    |  |
|--------------------|--|
| 毒物及び劇物取締法          | : 該当しない  |
| 化学物質管理促進法 (PRTR 法) | : 第1種指定化学物質 第407号<br>ポリキシエチレンアルキルエーテル (C12-15) |
| 労働安全衛生法/通知対象物      | : 該当しない  |
| 表示物質               | : 該当しない  |
| 有機則                | : 該当しない  |
| 特化則                | : 該当しない  |
| 消防法                | : 該当しない  |
| 危険物船舶運送及び貯蔵規則      | : 該当しない  |
| 海上汚染防止法            | : ばら積み輸送されない製品のため対象外                           |
| 水質汚濁防止法/水素イオン濃度    | : 該当する   |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律   | : 産業廃棄物  |

## 16.その他の情報

### 問合わせ先

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 会社名   | : 株式会社アビオス                       |
| 住所    | : 〒813-0034<br>福岡県福岡市東多の津1丁目2番1号 |
| 電話番号  | : 092-622-3011                   |
| FAX番号 | : 092-622-3016                   |
| 緊急連絡先 | : 092-622-3011                   |

### 引用文献

- (1) 家庭用消費者製品における GHS 実施ガイダンス 初版、日本石鹼洗剤工業会
- (2) 製品評価技術基盤機構(NITE)ー化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
- (3) 事業者向け GHS 分類ガイダンス、経済産業省、2013年
- (4) JIS Z 7251 GIS に基づく化学物質等の表示、日本規格協会
- (5) SDS(原料の製造元等が作成したもの)
- (6) GHS 文書附属書、改訂5版

ここに記載された情報は当社の最善の知見に基づいておりますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には、未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適正な利用については、使用者の責任において行なって下さい。